

一般質問通告書

令和 8年5月27日

弥富市議会議長 殿

弥富市議会議員 佐藤 仁志

下記のとおり質問したいので通告します。

記

書画カメラ	<input type="checkbox"/> 使用する <input checked="" type="checkbox"/> 使用しない (どちらかにレ点を付ける) ※通告書提出後は、議長に許可を得ること (口頭可)。
-------	---

件名	1 安藤市政8年の総括と本市の行政哲学について ～市制20周年の節目と次期総合計画への展望～
質問項目 及び要旨 (具体的内容)	<p>本市の行政運営は形式的な手続き論に終始し、根底の「行政哲学」が薄れている。市民の疑義に「手続上の瑕疵はない」と自己防衛するのではなく、正当性を対話で示す「公共的弁明」と、市民と共に公共を開拓する「活私開公」の姿勢が今こそ求められる。折しも本市は市制20周年を迎え、安藤市政も丸8年となる。合併時の特例財源をどう活かし、引き継いだものをどう正してきたのか、厳格な検証が必要だ。以上の哲学と歴史観を前提に問う。この8年間で本市にいかなる価値が創造されたのか。後世の歴史的評価も見据えた市長自身の総括と覚悟について、簡潔な答弁を求める。</p> <p>1. 1,200億円規模の予算執行に伴う価値創造と、市政8年間の総括について</p> <p>(1) 市役所組織としての価値創造と市長の志について</p> <p>(2) 新規・拡充事業の投資効果と、廃止事業(スクラップ)の削減実績について</p> <p>(3) 予算編成プロセスにおける市長のトップ査定方針と、積み残された課題について</p> <p>2. 本市の財政状況(市債と基金)の推移と見解について</p> <p>(1) 一般会計における市債と基金の推移、および財政運営の評価</p> <p>(2) 下水道事業の起債残高の推移と、今後の見通し・課題について</p> <p>3. 総合計画の評価と、第3次総合計画策定に向けた方針について</p>

	<p>(1) 第 2 次総合計画（前市政）の評価と、後期基本計画（現市政）の目標達成度について</p> <p>(2) 第 3 次総合計画策定に向けた市長のビジョンと、組織への具体的な指示について</p>
答 弁 者	市長

件 名	2 将来を見据えた財政運営について ～補助金のサンセット方式導入と大型開発事業の検証～
質問項目 及び要旨 (具体的内容)	<p>本市の財政運営の適正化という観点から、大きく 2 項目について質問いたします。</p> <p>はじめに、市が支出する各種補助金についてです。その総額と内訳を明らかにした上で、本来の目的である「行政課題の解決」が適正に図られているかを問うとともに、サンセット方式の導入や第三者評価など、今後の適正化に向けた市の見解を伺います。</p> <p>次に、税金による最大の投資事業とも言える「市内大型開発事業」について伺います。これまでの投入経費、および地域住民への説明状況を確認し、今後の費用対効果に対する市の率直な認識を伺います。</p> <p>1. 市が支出する補助金の現状と基本的な考え方（哲学）について</p> <p>(1) 市が支出する補助金の総額と、その詳細な内訳について</p> <p>(2) 補助金のあり方に関する指針（ガイドライン）の有無と、庁内における意義の共有状況</p> <p>(3) 目的達成のための手法（金銭支給と現物支給等）の比較検討と市の基本哲学</p> <p>2. 補助金の見直し機能と効果測定について</p> <p>(1) 終期の設定（サンセット方式）に関する市の見解と適用例</p> <p>(2) 所管課の「自己評価」に依存しない、第三者による客観的な評価・チェック体制の導入</p> <p>3. 市内大型開発事業の進捗と地域住民への説明、費用対効果について</p> <p>(1) 西末広地区における工業用地開発について</p> <p>(2) 車新田地区土地区画整理事業について</p> <p>(3) 弥富駅周辺事業について</p>
答 弁 者	市長